

おもな内容

- 3 市長室から
- 4 特集 荒尾スポーツNEWS
- 7 まちの話題
- 10 スマホ教室
- 12 保健・健康
- 15 ハロウィンテラス
- 16 元気にすくすく! 荒尾っ子
- 17 ハイ! スクール通信  
荒尾市民文化祭
- 18 子育てに関するお知らせ
- 22 初めてのHAPPY BIRTHDAY
- 23 暮らしの情報 PICK UP
- 24 暮らしの情報
- 32 うまか〜レシピ  
人権のいろいろ  
ゆめタウンシティモール  
テナント紹介
- 33 図書館へ行こう!  
荒尾総合文化センター  
自主文化事業
- 24 あらおカレンダー
- 35 平日夜間・休日当番医
- 36 荒尾干潟  
サンセット&カフェコンサート

人の動き 8月末現在 (外国人住民を含む)

人口 49,293人 (-41)  
 男性 23,326人 (-50)  
 女性 25,967人 (+9)  
 世帯数 24,087世帯 (-5)  
 ※( )内は前月比の増減

今月の税

- 市県民税 3期
- 国民健康保険税 5期

一度登録すれば納め忘れ  
ナシ! 市税などの納付は  
口座振替におまかせ♪

納期限  
10月31日(木)

お忘れなく!

問 収納課 ☎63-1353 ☎63-1362

このマークを知っていますか?

障がい者に関するマークを紹介します。このマークを見かけたときは、思いやりのある行動をお願いします。

オストメイトマーク

人工肛門・人工膀胱を造設している人(オストメイト)であること、オストメイトに対応したトイレを表すマークです。このマークを見かけた場合には、身体内部に障がいがある人であること、あるいはオストメイトに配慮されたトイレであることにご理解とご協力をお願いします。



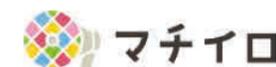
問 福祉課 福祉係 ☎63-1406

さまざまな方法で広報紙がチェックできます

声の広報

文字による情報入手が困難な障がい者のための音声録音版広報紙  
問 福祉課 福祉係 ☎63-1406

広報あらおを  
スマホでCheck!



マチを好きになるアプリ  
アプリをダウンロードすると、いつでも・どこでも・簡単に広報紙が閲覧できます。



荒尾市公式LINE 友だち登録  
市政情報、イベント情報、災害・防災などの緊急情報をお届けします。



市長室から

令和6年10月



荒尾市長  
あさだ としひこ  
浅田 敏彦

今年の夏は記録的な猛暑が続きましたが、日中の暑さも和らぎ、秋の風が心地よい爽やかな季節になりました。一方で、台風が発生しやすく、台風10号が上陸した際には、多くの方々  
が避難所を活用し、9月1日の防災の日  
に開催した「あらお防災フェスタ」には、約6千人の方にご来場いただき、市民のみなさんの防災意識の高まりを実感したところです。

台風や火災時などに地域の消防団の防災の要として活躍する消防団の「県消防操法大会」が八代市であり、応援に行ってきました。競技は「ポンプ車の部」と「小型ポンプの部」の2部門で、県内市町村の34隊が消防技術の正確さや速さを競う中、本市代表の2隊がそれぞれ準優勝とい

う好成绩を収め、日頃の訓練の成果を十分に発揮してくれました。また、フランスの首都パリで開催されたオリンピック・パラリンピックでは、日本代表チームで活躍する本市出身のアスリートに、パブリックビューイングなどを通じて、市民のみなさんと一体となってエールを届けることができました。

バレエボール男子の宮浦健人選手は勝負どころで決勝点を決め、決勝トーナメント進出に貢献し、車いすラグビーの乗松聖矢選手は献身的なプレーでチームを支え、前2大会連続の銅メダルを上回り、この競技では日本初の金メダルを獲得しました。お二人が積み重ねてきた努力に敬意を表するとともに、今後のさらなる活躍を期待しています。地域の話題では、ここ数年の新型コロナウイルスの影響で、今年度から再開または新たに始まった行事も多く、8月には各地区の夏祭りや納涼祭などにお招きいただき、市民のみなさんと笑顔で直接お話ができ、私自身

もたくさんの元気をもらえ、市政運営への一層の励みとなりました。

さて、市立有明医療センターが開院してから1年が経ち、有明地域の中核病院として、多くの方にご利用いただいています。現在、駐車場整備などの工事を行っていて、進入路の変更などご不便をおかけしていますが、今年12月上旬にはグランドオープンを予定しています。併せて、正面玄関前への路線バス乗入れを開始するなど、利便性を向上させることも、関係機関との連携を深め、有明医療センターを核として安心して健やかに生活できる環境づくりを推進してまいります。

また、企業誘致に関しては、県内への半導体関連企業の集積という追い風もあり、昨年度、本市では過去最高となる6社と立地協定を締結することができました。今後も、トップセールスで企業誘致を積極的に進め、人口減少・少子化対策の重要な柱である「働く場所」の創出を図ってまいります。

8月25日、競技開始前に本市消防団出場隊へ激励

